

# どっきどき！ 9月号

## どうしょっか・・・？

先月号でお伝えしたカタツムリのお世話について、子どもたちから話し合いをしたいという意見が出たのでおやつ後に時間を作りました。

M.T「カタツムリのお世話ができていないからさ」

K.K「みんなで2人ずつ順番にやるのはどう？」

みんな「いいよ」

T.D「逃がしてあげるのは？」

M.T「今暑いから、暑い時に逃がすと干からびて死んじゃうよ。」

涼しくなったら逃がしてあげよう」

T.D「そっか。そうだね。」

O.D「順番って〇〇くんと〇〇くんの次は〇〇くんと〇〇くんってこと？」

K.K「そう！」

M.T「順番がぐちゃぐちゃにならないようにしないとイケないよね」

N.S「〇〇くんの次はぼくと〇〇くんね！」

N.K「ぼくは…〇〇くんとがいいな」

～それぞれ口々に話す～

N.S「なんかさ、2人ずつのグループ決めたらいいんじゃない？」

T.D「うみ組は17人だから1人保育園をやめなくちゃいけないよ」

M.T「1人は先生とやるのは？」

N.K「1人だけ2回やればいいんじゃないかな？」

T.D「じゃあ…1番にやりたい人！」

M.T「そうやって決めるのはよくないよ。」

N.S「そうだよ。〇〇くん今日お休みだよ。」

M.T「まず2人組に分かれなきゃだよ。」

K.K「好きな人となる？」

N.S「でもさ、お誕生日順でもいいんじゃない？順番わすれないさ！」

N.M「えー…好きな人とが良かったな。」

M.T「好きな人とだと遊んじゃうと思う。」

O.D「そうだよ！僕、〇〇くんとだと仲良しだから遊んじゃうかも。」

T.D「うーん…難しいね。どうしょっか。」

～同じような意見が続き、

好きな人と組みたい子が増えていく～

保育士「みんながそら組の時のお当番って覚えているかな？」

K.YU「あ！クルッって回すやつだ！」

T.D「それがあれば誰がお当番か分かるよね」

1人で生き物のお世話を毎日続けることはとても大変！よくお手伝いをしてくれている男の子の訴えから今回の話し合いが始まりました。先月のお墓づくりの体験から、お世話の大切さはみんな十分に理解しているようで、“どうしたら忘れないで出来るのか”を1番大切に話し合いを進めていました。また、友達の意見を受け入れるだけでなく、その場にはいない休みのお友達ことも考えられるようになって同じクラスの仲間を想う姿に成長を感じました。後日、休んでいたお友達が当番表を見つけると友達に何の当番表なのか聞き、「私もやりたい」と話し、作り始めているお友達も！

今後の運動会の話し合いでもなるべく子どもたちの話し合いで進め、達成感を味わったり、仲間意識を高めていけたらと思っています。どんな意見が出てくるのか今から楽しみです☆

